

## 製品安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名 消臭一撃爽快 (トリガータイプ250ml、ミニスプレー15ml)  
会社名 株式会社リンレイ  
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号  
担当部門 秦野工場 生産技術課  
電話番号 0463-81-5455  
FAX番号 0463-82-4700

### 2. 組成、成分情報

単一物質/混合物の分類 混合物

<適用法令(項目15)関連成分>

成分名	C a s . N o .	濃度 (%)	適用法令
エタノール	64-17-5	5~15%	労働安全衛生法 官報告示整理番号62

<その他の成分>

成分名

水	85~95%
消臭組成物(下記成分)	0.9~1.0%
a) 両性高分子化合物	
b) 環状チオール型制菌剤	
c) イソチアゾリン型制菌剤	
d) ジクアニジン型制菌剤	

### 3. 危険有害性の要約

- ・危険性 : 本製品中のエチルアルコール含有量は低いので、消防法その他の法規に該当しない。
- ・有害性 : 蒸気を大量に吸引すると麻酔剤として働き、めまい、感覚鈍化、頭痛などを起こす場合がある。皮膚、眼、鼻、喉の粘膜に繰り返し接触すると炎症を起こす場合がある。
- ・環境影響情報 : 標準使用の範囲では影響は低い。

### 4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・水及び石けんで十分に洗い落とす。
- ・もし、外観に変化がみられた場合は医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・鼻をかみ、うがいさせ、空気の新鮮な場所に移動させ安静にさせる。
- ・症状が重い場合は速やかに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- ・被災者に意識がある場合、水で口の中をよく洗わせる。
- ・被災者の意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

使用可能消火剤：炭酸ガス、泡、粉末、二酸化炭素、水 等を用いる。

消火方法：可燃性の物を周囲から取り除く。

消火作業は保護具を着用し、周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用し、飛沫が皮膚等に付着したり、吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

回収方法

- ・多量に漏出した場合：土のう等で拡散を防止し、漏出液は密閉可能な容器にできるだけ回収し、残量は大量の水で洗い流す。揮発したアルコールが充満する可能性があれば、着火に注意しながら換気を行なう。
- ・少量の場合：容器の変形や破裂が発見された場合、速やかにウエスで拭き取るか、砂を散布するか、水で洗い流す。

---

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い

<技術的対策ならびに注意事項>

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・高温となる場所では使用しない。周辺で火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。
- ・使用する付近に、可燃性物や酸化性物は置かない。
- ・保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用し、皮膚・粘膜・着衣などに触れないよう注意する。
- ・容器はていねいに扱い、その都度密閉する。

<安全取り扱い注意事項>

- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管

<保管条件>

- ・性能劣化防止のため、日光の直射を避け、冷暗所に密栓にて保管すること。
- ・40℃以上での貯蔵、加熱、容器の破損につながる粗暴な取扱はしないこと。
- ・通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・水禁忌物質との同一場所保管を避ける。

---

## 8. 暴露防止および保護措置

暴露許容濃度

エタノール：ACGIH

1000ppm (TLV-TWA)

設備対策

- ・取り扱い場所の近くには、高温となるものが置かれなような設備とする。

保護具

- ・目の保護：必要ならゴーグル等を使用する。
  - ・皮膚および身体の保護：長袖作業着、必要に応じゴムまたはビニール手袋等を着用する。
  - ・呼吸系の保護：必要なら防塵マスクを着用する。
-

## 9. 物理的および化学的性質

物理的状態	: 液体	pH	: 7.4 ± 0.5 (@ 20°C)
色	: 無色透明	水への溶解性	: 溶解
臭気	: 無臭	可燃性	: なし
比重	: 0.984 ± 0.02 (@ 20°C)	その他	: 特になし

## 10. 安定性および反応性

安定性	: 一般常温環境下で安定
危険な反応	: なし
避けるべき材料	: 強酸化剤との混合禁止
危険有害な分解生成物	: なし

## 11. 有害性情報

- ・急性経口毒性 : 成分(a)ラット LD50=32g/kg (体重) 以上  
成分(b)~(d)ラット LD50=10g/kg (体重) 以上
- ・皮膚・目刺激性 : 成分(a)~(d)ラット、ウサギに対し炎症の誘発なし  
エタノールは刺激性と脱脂性があるので、鼻・のど等の粘膜に繰り返し接触すると炎症の起こる可能性がある。
- ・変異原生試験 : 全ての成分は遺伝毒性や変異原性がともに認められない。
- ・催奇性 : 各成分共報告事例は見当たらない。

## 12. 環境影響情報

- ・移動性 : あり
- ・残留性/分解性 : 成分(a)は環境で容易に生分解する。  
成分(b)~(d)は環境で生分解するとされているがデータなし。
- ・生体蓄積性 : データなし
- ・魚毒性 : 成分(a) LC50値(ヒメダカ) 1000ppm(24時間)、35000ppm(48時間)で弱い魚毒性があると考えられる。
- ・その他 : 一般環境内には廃棄しない

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・廃液、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・弱い魚毒性があるので、未希釈で大量に河川湖沼に流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および、関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。
- ・地域の規則に従う。

### 汚染容器・包装

- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・地域の規則に従う。

## 14. 輸送上の注意

運搬に際しては、容器に洩れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確認する。

国内規制	: 特段の規制はない
国連分類	: 該当なし
国連番号	: なし
輸送時の安全対策及び条件	: 運搬に際しては輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

- |                    |                  |                 |
|--------------------|------------------|-----------------|
| ・ P R T R法 : 該当しない | ・ 毒物及び劇物取締法      | : 該当しない         |
| ・ 消防法 : 該当しない      | ・ 高圧ガス保安法        | : 該当しない         |
| ・ 船舶安全法 : 該当しない    | ・ 労働安全衛生法(有規則含む) | : 該当する (2. 項参照) |

---

## 16. その他の情報

特になし

---

(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。